

高良小学校 学力向上推進の全体構想図

【学校教育目標】

○よく考え自ら学ぶ子 ○礼儀正しく思いやりのある子 ○体をきたえじょうぶな子

【学力向上推進の目標】

児童一人一人の「確かな学力」を向上させ、「生きる力」を育む

【基本方針】

- 1 「確かな学力の向上」を重点に、「豊かな心の育成」「健やかな体の育成」「基本的な生活習慣の育成」に係る事項について取組の充実を図る。
- 2 幼小の円滑な接続と小中一貫教育を通して、各学年で身につけるべき内容を確実に定着させる取組の充実を図る。
- 3 学校、家庭、地域が連携協力して日常的な取組の充実を図る。
- 4 マネジメントサイクルに基づき実効性があり、学校が主体的に取り組めるよう学力向上推進の充実を図る。

学校の取組【実践項目・実践事項】

1 児童一人一人が大切にされ、よさや可能性を高め伸ばす学級経営

(1) 授業の基盤となる支持的風土のある学級経営

- 学習環境を整える
- 児童理解に努める
- お互いの考えを認め合える学級
- 学級経営に関わる校内研の充実

(2) 合意形成・意思決定や自己有用感を大切に学習活動の展開

- 「自己指導能力」の育成に視点を置き取り組むことで、合意形成・意思決定や自己有用感を大切に学習活動の展開

(3) 学級経営PDCAサイクル

- 目指す学級の姿を明らかにし、児童及び学級の実態を把握し、学級経営案・専科経営案を立て、実践しながら適宜振り返る。
- 学級経営チェックシートを作成し、評価する。

(4) 児童会を中心とした活動の推進

- (ハートフルタイム、募金、その他自発的活動)

2 「確かな学力」の向上

(1) 「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す授業づくり

- 主体的な学びの視点
- 対話的な学びの視点
- 深い学びの視点
- 言語活動の充実
- 教科にかかわる校内研の充実

(2) キャリア教育の視点を踏まえた授業づくり

- 「学ぶ意義」「働く意義」を実感させる授業（総合シャドウ学習その他）
- 社会的・職業的自立に向け必要な資質能力を育む取り組み

(3) 学習を支える力の育成

- 学習規律の徹底（「3つのかまえ」指導徹底）
- 家庭学習の充実（授業と連動した宿題、学習の定着を図る宿題の工夫）
- 児童の学習状況の把握と支援の充実
(テスト後の回復指導、計算力・漢字力向上、高良っこチャレンジ月間テスト、必要に応じた個別指導)

(4) 学習を支える施設や情報機器の活用

- 学校図書館の活用
- ICT活用

3 基本的な生活習慣の形成

(1) 望ましい生活リズムの確立

- 「早寝早起き朝ご飯」「食べて動いてよく寝よう」取り組みの充実
(高良っこチャレンジ月間2回)

(2) 規範意識・マナーの育成

- あいさつをする、きまりを守る指導（高良っこの七五三運動）
- 身の回りの整理整頓や自他の物を大切にすることを指導（記名の日）
- 命を守る指導（高良っこの一日、非行防止教室等）

(3) 「家～なれ～運動」の推進

- 親の学び合いプログラム

4 学力向上マネジメント

(1) 全校体制による学力向上推進・PDCAサイクルの構築

- 明確な学力向上推進PDCAサイクルの構築
- 学年会、教科の枠を超えた研修会の充実
- 指導と評価の一体化

(2) 授業改善PDCAサイクルを生かした学力向上推進

- 日常的な授業参観
- 学力調査等の活用（標準学力調査、全国学力調査、県到達度調査）
- 県学力向上WEBシステムの効果的な活用

家庭・地域の取組【実践項目・実践事項】

- 読み聞かせボランティアの実施(週1回)
- 童話お話大会の実施

- 放課後子ども教室「エジソンクラブ」実施

- 将来の夢や希望について親子で語り合う
(「働くこと」「勉強すること」の関係など)
- 地域教育資源の活用への協力

- 宿題に目を通し、
答え確認やサイン等をする。

- 家庭読書の充実
- 学習環境を整える
- 学習用具の準備や持ち物の確認
- 机上の整理

- 生活リズム表の作成と親子での取り組み
- 生活リズムを整える
(早寝・早起き・朝ごはん)

- 部活動の適正化
- 家庭学習時間の設定
- 「Go家運動」の取り組み
- 自己抑制・規範意識・マナーのしつけ
- 食と健康安全への意識を高める指導
- 部活動の適正化
- 団欒時間の確保
(親子のコミュニケーション)

- 体験活動の充実
- 子ども会活動の推進
- 地域ボランティア等による積極的な
学校支援
(放課後子ども教室、クラブボランティア等)

